

第3学年 国語科学習指導案

令和3年10月25日（月） 第5校時

1 単元名 進行を考えながら話し合おう「はんで意見をまとめよう」

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、グループでの合意形成をめざした話し合いについて学習する単元である。司会や記録などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめる力を身につけることがねらいである。本単元で学んだことは、授業や学校生活など様々な場面で生かすことができる教材である。また、情報モラル教育については、情報を安全に利用することや、情報機器の使用による健康とのかかわりについて、身近な「YouTube」を例に考えることができる教材でもある。

(2) 児童観

(略)

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、司会などの役割を理解し、協力しながら進行に沿って話し合うことで、よりよい話し合いができることに気付かせたい。共通の目的に沿って、合意形成するためには、進行役の司会や、記録や計時を担当する係など、それぞれの役割を果たすことができるように指導していく。また、話題に沿って発言しているか、流れを踏まえて発言しているかなどについて、参加している全員が判断しながら話し合いを進めることができるよう、話し合いの目的を意識させていく。話し合ったことが実現できてはじめて児童は話し合いの価値を実感と考えられるので、話し合いの価値を実際に実感させるために、1年生に読み聞かせをすることを踏まえた話し合いを行いたい。

情報モラル教育についての話し合い活動を通して、自分の実体験を基に「YouTube」の利用の仕方について考えさせたい。また、情報モラルの情報を安全に利用することや、情報機器の使用による健康とのかかわりについて考えさせたい。最終的に、どういうことに気を付けながら情報機器を使えば良いか、自分で意志決定して実生活に生かせるようにしたい。

3 単元のねらい

- (1) 司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめる力を身につける。
- (2) 情報機器を利用する際の注意点等について考えながら、生活の中で正しく活用できる力を身につける。

4 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
○ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	○ 「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ○ 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	○ 進んで目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら、学習の見通しをもって、グループで話し合い、考えをまとめようとしている。
○ 情報機器を、安全・健康に気を付けて使うことができる。	○ 情報機器を使う際のルールについて考えることができる。	○ 情報機器を、安全・健康に気を付けながら進んで使おうとしている。

5 学習計画（総時数8時間 本時5／8）

時	学習活動	評価
1	学習課題を設定し、学習計画を立てる。	学習内容や単元のめあてを理解し、進んで学習計画を立てようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)
2	話し合いの目的と決めることを確かめ、自分の意見をもつ。①	話し合いの目的や決めることを理解し、話題に沿って、自分の考えをもっている。 (思考力・判断力・表現力等)
3	役割を決め、話し合いの大まかな進め方を確かめる。	役割分担や話し合いの進め方を理解し、積極的に学習に取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)
4	班ごとに話し合いの計画を立てる。	理解したことに基づいて見通しをもち、班で相談して話し合いの計画を立てている。 (思考力・判断力・表現力等)
5 (本時)	班ごとに話し合う。① (情報モラル)	○ 自分の役割や進め方を意識しながら、共通点や相違点に着目して話し合いを行っている。 ○ 情報機器を使う際のルールについて考えることができる。 (思考力・判断力・表現力等) ○ 話し合いを円滑に進行するための言葉の使い方を理解し、使っている。 ○ 情報機器を、安全・健康に気を付けて使うことができる。 (知識・技能)
6	話し合いの目的と決めることを確かめ、自分の意見をもつ。②	話し合いの目的や決めることを理解し、話題に沿って、自分の考えをもっている。 (思考力・判断力・表現力等)
7	班ごとに話し合う。② (1年生への読み聞かせ)	自分の役割や進め方を意識しながら話し合い、共通点や相違点に着目して考えをまとめている。(思考力・判断力・表現力等) 話し合いを円滑に進行するための言葉の使い方を理解し、使っている。 (知識・技能)
8	班ごとに話し合いの結果や様子を報告し、単元の学習をふり返る。	単元の学習をふり返り、役割を果たしながら話し合っただけで考えをまとめる時に気をつけることを、自分の言葉でまとめている。 (思考力・判断力・表現力等)

6 本時のねらい

- 班での役割を果たしながら、共通点や相違点に着目して話し合いをすることができる。
- 話し合い活動を通して、「YouTube」のどのようなことに気を付けて使っていけばよいかを考えることができる。

7 本時の手立て

- 話し合い活動を通して、考えを交流させる。
- 事前にアンケートをとり、実態を把握する。

8 学習過程

段階	学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 ◇評価
課題把握	<p>1 前時までの学習内容を確認し、本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦ 「YouTube」を使う時、どんなことに気をつけなければならないのかな。</p> </div>	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学習をふり返り、本時の学習の内容について全体で確認する。 ○ 情報機器について説明する。 ○ 司会などの役割を意識して話し合いをすることを強調して伝える。
見通し 課題追求	<p>2 見通しをもつ。 (1) 各グループで役割を確認する。 (2) 話し合いの進め方を確認する。</p> <p>3 話し合う。 (1) 「YouTube」について思いつくことを出し合う。 ・楽しい ・おもしろい ・たくさん見る ・毎日見てる ・けっこう見てる ・広告 など (2) 「YouTube」を使う時の家での約束を出し合う。 ・時間を守って見る。 ・見守り設定を守る。 ・○曜日だけしか見てはいけない。 など (3) 約束やルールがある理由を考え、グループで話し合っって意見をまとめる。 ・安全に動画を見るため。 ・目が悪くならないようにするため。 ・事件にまきこまれないようにするため。 ・自分を守るため。 など</p> <p>4 ルールがある理由を全体で共有する。 ・勝手に動画をのせない。 → なぜ? → 肖像権や著作権があるから。事件にも。 ・ルールを守る。 → どんなルール? → 時間を守る。 → なぜ? → 目が悪くなる。宿題ができない。寝れなくなる。など</p>	3 20 10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役割を一つ一つ確認し、それぞれのグループでの役割を確認する。 ○ 模造紙に書き込みながら話し合いをすることを確認する。 ○ 役割を意識しながら話し合いをするように声をかける。 ○ 「YouTube」について思いつくことを、模造紙に自由に書かせるようにする。 ○ 記録が模造紙に書くようにする。 ○ 子どもが事前にワークシートに書いたものを基に、「YouTube」を使う時の家での約束を書かせるようにする。 ○ 事前に書いたワークシートなどを参考に話し合わせるようにする。 ◇ 司会などの役割を果たしながら、考えを出し合う話し合いをしている。(観察) ○ グループの代表に発表させる。 ○ 発表されたものについて、根拠を基に考えさせる。 ○ 違法アップロードされているものなどの写真を見せる。 ◇ ルールの役割を考えることができたか。(観察)

ふり返る	5 まとめる。	8	○ 本時の話し合いを通して、話し合いについてのふり返りや、これから YouTube をどのように使っていくかをワークシートに書かせる。 ◇ 話し合い活動を通して、YouTube の使用について考えることができた。(ワークシート)
	㊦・見すぎないようにする。 ・見てはいけないものは見ないようにする。 ・時間を守る。		
	6 本時のふり返りをする。		
	7 次時の予定を確認する。		

9 板書計画

㊦

③やくそくやルールがある理由をグループで話し合っ
て意見をまとめる。

33!

①ユーチューブについて思いつくことを出し合う。

②ユーチューブを使う時の約束を出し合う。

発表

時間

きろく

司会

ま

め

ユーチューブを使う時、どんなことに気をつけばい
いのかな。

はんで意見をまとめよう

第5学年 学級活動（2）指導案

令和3年7月14日（火） 第5校時

1 題材 「情報モラル～スマートフォンの正しい使い方～」

2 題材について

（1）児童の実態

（略）

（2）題材選定の理由

情報モラルアンケートの結果から分かることは、家庭で毎日のようにスマホやタブレットを使用し、ユーチューブやネット検索などを行っている。その反面、家庭でのきまりやルールが決められていなかったり、自由に使用したりしているなど、メディアに対する意識の低さが見られる。そこで、正しいスマホやタブレットの使い方について考えさせることで、スマホやタブレットを正しく使うための知識を深めるとともに、メディアに対する意識を高めさせていきたい。

（3）指導観

指導にあたっては、スマホやタブレットでどんなことができるのかを話し合わせ、便利だからといって使い過ぎてよいのかを考えさせたい。アンケート結果を円グラフで提示し、児童から出た問題点から本時の課題につなげていきたい。そこから自分の1日のスケジュールに立ち返らせ、スマホやタブレット使用のリスクなどを考えさせながら、自分のスケジュールの改善点を把握させていきたい。考えた改善点を生かして自分のスケジュールを見直し、どのように改善したのかを発表させ、改善したスケジュールを実生活で活用しながら、メディアコントロールやリスクマネジメント、タイムマネジメントしようとする態度の基盤を築けるようにしていきたい。また、ロイロノートも資料提示や発表で使用し、ICT活用能力と情報モラル教育の両輪で指導を行い、自己マネジメント力を高めさせたい。

3 第5学年及び第6学年の評価基準

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価基準	日常生活への自己適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身につけている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 本時のねらい

自分のスマホやタブレット等の使用状況から問題点を探り、スケジュール表の作成を通して、自律的にマネジメントする態度の育成を図る。

5 指導上配慮すべき事項及び手立て

- スマホやタブレットの使用に関する課題に気付かせるために、「使用時間」についての円グラフを提示する。(手立て1)
- 自分のスマホやタブレットなどの使用の実態を可視化させるために、1日のスケジュールを表にまとめたものを使用したり、改善点を生かして表にまとめたりする。(手立て2)
- 改善前と後のスケジュールを比較しながら、ロイロノートを使って発表させる。(手立て3)

6 学習過程

学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 ◇評価
1 スマホやタブレットなどでどんなことができるか話し合う。	5	○ 使用時間に着目させるために、揺さぶりの発問をする。
2 本時の課題をとらえる。 (1) 使用時間の円グラフから、気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2時間以上使っている人が半分もいる。 ・ 3時間以上も使っている人がいる。 ・ 全体的に使い過ぎている。 (2) 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> スマホやタブレットは便利であるが、どのように見直せばよいのだろうか。 </div>	5	○ 使用時間の課題に気付かせるために、アンケート結果を提示する。(手立て1) ○ 本時の課題につなげやすくするために、子どもの発言を板書しておく。 ○ 子どもの発言を生かして、めあてを作っていく。
3 自分の使用状況を把握し、改善点を考える。 (1) スマホやタブレット使用でのリスクを考える。 (2) リスクをふまえて、改善点を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長い時間使っているので、使う時間を減らす。 ・ ぐっすり眠れるように、寝る前にはスマホを使わない。 ・ 宿題が終わってから、スマホを使うようにする。 	15	○ 自分の1日のスケジュールをまとめた表を使用することで、自分の使用状況を可視化させていく。(手立て2) ○ 改善点を考えやすくするために、スマホやタブレットの生活面や使用中のリスクを提示する。 ○ 自分のスケジュールの改善点を明確にするために、ワークシートに改善点を書かせる。 ○ ペアで話し合いを行うことで、自力解決が困難な児童も自分の考えをもてるようにする。
4 改善点を生かして、自分に合ったスケジュールを考え、発表する。	15	○ 改善前との違いを可視化させるために、改善後のスケジュールを表にまとめさせる。(手立て2) ○ 比較しながら発表するために、ロイロノートを使って発表させる。(手立て3) ○ 改善した所が分かるように、どのように改善したのかを発表させる。 ◇ 自分の1日のスケジュールを見直し、マネジメントしようとしているか。(ワークシート・発表)
5 学習のまとめをし、本時を振り返る。	5	○ 学習のまとめとして、学習しての感想を書かせる。 ○ SDGs との関係性についても触れさせていく。 ○ 改善したスケジュールを実践させていく。

◎ 授業の感想

◎ 改善したスケジュールを実せんしてみよう。

14日(水)	15日(木)	16日(金)	19日(月)
★	★	★	★

※ 実せんできたら色をぬりましょう。



スマホやタブレットなどの使用の仕方を見直し、安全でより便利な物となるようにしていきましょう。

実せんしてみた感想	お家の人から



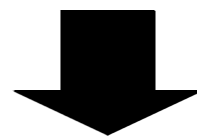
情報モラルワークシート②

年 番 名前 ()

◎ スケジュール（平日）の再確認をしよう。

16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8

<前回と比べての反省>



◎ お家でスマホやタブレットなどを使う時のルールを考えよう。

--

◎ 必ず守るルールを3つ決めよう。

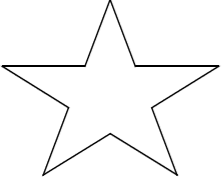
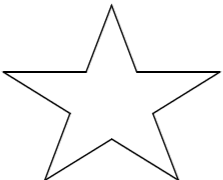
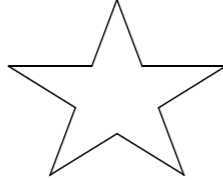
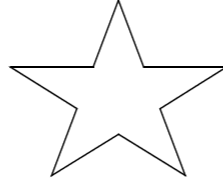
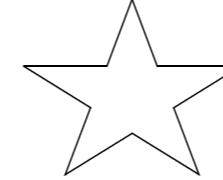
①

②

③

決めたルールをしっかりと守って、安全に使っていきましょう。

◎ 決めたルールを実せんしてみよう。

6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)
				

※ ルールを守れたら色をぬりましょう。



実せんしてみた感想	お家の人から



※ 13日(月)に提出しましょう。